

名古屋市SDGs未来都市計画の改定について



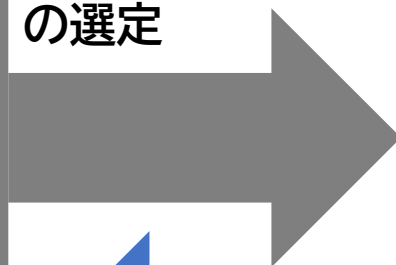
1 S D G s 未来都市の概要

政 府

- ・平成28年5月にSDGs推進本部を設置し、実施指針やアクションプランを策定するなど国を挙げて推進

- ・平成30年より、SDGsの達成に向けた優れた取組を提案する地方自治体を「SDGs未来都市」として選定する事業を開始

SDGs未来都市
の選定

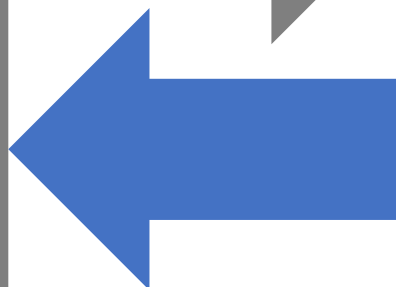


地方自治体

- ・SDGs未来都市に選定された地方自治体は、3か年のSDGs未来都市計画等を策定し、その達成に向けた取組を積極的に実施

(毎年20～30都市が選定され、令和6年現在206都市)

取組状況の報告



2 本市の状況

令和元年7月

SDGs 未来都市に選定

令和元年10月

第1期SDGs 未来都市計画を策定
(計画期間2019年~2021年)

令和4年3月

第2期SDGs 未来都市計画を策定
(計画期間2022年~2024年)

令和7年3月
(予定)

現計画を改定し、第3期計画を策定
(計画期間：2025-2027年)

総合計画2023の
内容を基に策定



名古屋市は
SDGs 未来都市



3 計画の構成

項 目	改定の考え方
1 将来ビジョン	総合計画2028の内容を基に改定
(1) 地域の実態	
(2) 成果と課題 新規	
(3) 2030年のあるべき姿	
(4) 2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール、ターゲット	
2 自治体SDGsの推進に資する取組	各局の取り組みを基に改定
(1) 自治体SDGsの推進に資する取組	
(2) 情報発信	
(3) 普及展開性	
3 推進体制	
(1) 各種計画への反映	
(2) 行政体内部の執行体制	
(3) ステークホルダーとの連携	
(4) 自律的好循環の形成	
4 地方創生・地域活性化への貢献	

4 改定のポイント

① 優先的に取り組む事項の選定

- ・名古屋市総合計画2028の重点戦略から選定
- ・少子化対策やダイバーシティの要素を新たに追加

【経済】	新たな挑戦を後押しし、激化する都市間競争に打ち勝つ産業力強化	戦略5(3)
【社会】	<u>若い世代が希望を持って暮らし、安心して結婚し、子どもを生み、育てられる環境づくり</u>	戦略1(1)
	<u>人権が尊重され、多様性（ダイバーシティ）を包摂するまちづくり</u>	戦略3(1)
	スマートで居心地が良く、交流を呼び込む都市機能の充実	戦略5(1)
【環境】	脱炭素型・循環型・自然共生まちづくり	戦略5(2)

② KPIの設定

- ・重点戦略に紐づいている成果指標から設定

5 今後のスケジュール（予定）

